



第20回のぞえ夏まつり

平成30年8月4日(土)

蓮池小学校グラウンド

キャッチフレーズ 『笑顔がいっぱい』

今年の夏は猛暑です。毎日、『命に関わる暑さ』といわれ続けて2週間ほどが経っていました。野添コミュニティ委員会の役員からも『中止』も含めて検討してはどうかという意見がありました。7月29日(日)、午後7時から『のぞえ夏まつり運営実行委員会』をするに当たって、事前に夜店の出店団体と出演する団体に現状の報告を行ったところ、『この暑さで中止になってもそれはやむを得ないが、各団体が責任を持って熱中症対策を行い、できるだけ実施してほしい。』と強い要望がありました。運営実行委員会直前の午後6時より、最終の方針決定をしました。前日準備の時間をずらすことや熱中症対策としての散水、活動時間の制限など、徹底することを前提として実施使用と全員一致で共通理解しました。運営実行委員会でも、常に積極的な意見が出されてこの地域の『のぞえ夏まつり』に対する熱い気持ちが一つになったような気がしました。そういえば、台風が近づいてきたとき、稲谷さんがビニールのロープで看板が飛ばないように補強してくださいました。そんな一人一人の思いが集まっているんだなあと思いました。

8月3日(金)、朝早くから、テントを出したり、照明用櫓用の単管などを出したりしてくださる人、午後3時からラインを引いてくださる人、午後4時からテントを張ったり櫓を組んだりする人、平日にもかかわらず総勢40名あまりの人が準備に参加してくださいました。

8月4日(土)、朝6時頃から蓮池小学校では人影がありました。電気配線を行う業者の登場、午前8時には総勢70名ほどの方が机・椅子の設置や提灯付けなどをしてくださいました。おかげさまで1時間ほどで準備が終わりました。その後会場の水まきの準備、午後1時過ぎからは夜店の出展者の登場、音声の担当業者の準備、そして出演団体の準備等、飛ぶように時間が過ぎていきました。

午後3時30分、スタッフジャンパーを着た70名ほどの運営委員がコミセンのロビーに集まり、最終の打ち合わせを行いました。主な仕事は巡回警備とトイレや校門などの安全警備です。一人一人子どもたちの作った行灯を持ってグラウンドへ行きました。

午後4時から夜店が始まりました。まだ暑いのに焼きそば・かき氷・フランクフルト・ジュース・アイスクリーム・ゲームなどたくさんの方が並んでいました。オアシス蓮池からは、古宮漁協で作っていただいた干しダコから作った『たこ飯』、加古川の『かつめしのタレ』、地元で噂のパン屋さんのパンの販売をしました。地域を元気にする取組ですが良さをよく知っている方が買っていかれました。



開会セレモニー

午後4時55分からいよいよプログラムの開始です。オープニングは勇壮な太鼓の『播磨太鼓』です。竹田副委員長の開会宣言の後、実行委員長の藤原さんの挨拶、来賓挨拶は来賓を代表して播磨町長清水ひろ子様にしていただきました。運営上の注意を運営委員長の武岡さんにしていただきました。



『播磨太鼓』

直前に体調を崩された4名の方が抜ける中、勇壮な太鼓を披露していただいたのは『播磨太鼓』の皆様です。発足してから25年間、地域のイベントに参加し、演奏活動を続けています。『継続は力なり!!』です。



『蓮池幼稚園』

蓮池幼稚園の4歳児と5歳児の皆さんが、浴衣姿で踊っていただきました。“播磨音頭”と“はりまドキドキダンス”を踊りながら可愛い笑顔を振る舞ってくれました。お父さんもお母さんもメロメロです。



『めちゃ楽連』

11年前に余命3ヶ月の末期癌であることを宣告された連長がどうせいただいた命なら楽しいことに捧げたいと思い、結成した連です。本場、徳島にも出演し、古典的邦楽の良さとアバンギャルドな新しさをミックスさせた音と正調の踊りで観客を魅了します。とにかく生音外衣だけでなく、踊りも洗練されています。幼児から後期高齢者まで世代豊かな大きな家族という感じの連です。



『ピピング』

ピピングは、野添コミュニティセンターと南部コミュニティセンターで週1回集まってレッスンを行っています。いつも全力で踊りきります。総勢150人の踊りです。



『Aloha Pua Makani Ohana』

夏と言えば「ハワイアン」ですね。爽やかな風で楽しませてくれました。

曲は

“エ フリ マコウ”

“パパリナ ラヒラヒ”

そして会場の皆さんには行ってもらって“月の夜は”を踊りました。楽しく踊れましたか。



『ダンシングチーム KIRARA』

いつも元気いっぱい。笑顔いっぱいで踊るダンシングチームです。西尾先生の指導の下、本当に楽しく踊ってくれます。総勢150人の踊りです。持っている全てのエネルギーをこの地に爆発させて踊りました。「控え室の大会議室が整然としていてびっくりしました。」と後片付けの戸締まりで回られた管理人さんが感心しておられました。小さな積み上げの成果ですね。



『兵庫県いなみ野学園OBボランティアグループカクテル一座』

高齢者の生涯学習の一環として「兵庫県いなみ野学園」の卒業生が自主的に地域のイベントや老健施設などを年間約40回ぐらの訪問を行っております。女性だけの8人グループです。

見ていただいた傘踊りは、伝統芸能でありますシャンシャン踊りを現代風にアレンジしたダイナミックな男踊りです。



『シャイニングスター』

心と体に輝きを与え続けるシャイニングスターです。兵庫県ふれあい大賞をはじめさまざまな賞も受賞しています。シャイニングスターの“優しさに包まれて”はいかがでしたか。



ダンスをやってみよう！！

会場に来られた皆さんを誘ってダンシングチームKIRARAの皆さん、シャイニングスターの皆さんと一緒にダンスをしました。みんな楽しそうですね。



『YENA☆(イエナ)』

明石ケーブルテレビがプロデュースするご当地アイドルグループYENA☆(イエナ)の皆さんです。満天の星空から舞い降りた女の子たちは、明石市立天文科学館で稼働する現役最古のプラネタリウム投影機『カールツァイス・イエナ』にあやかりイエナと名付けられました。デビュー以来、地域のイベントなどにたくさん出演し活躍されています。のぞえ夏まつりにも5年前、4年前と出演がありました。



阿波踊りから総踊り（播磨音頭）へ！！

いよいよフィナーレです。めちゃ楽連が先導する阿波踊り、会場の集まった老若男女の皆さんが「ちゃんかちゃんか、チャンカチャンカ」の曲に乗って同じあほなら踊りゃな損々。そして「やあ～となあ～ そりゃ、よいよい。やあ～となあ～ そりゃ、よいよい。」跳ねろ！跳ねろ！総踊りです。今年も最高のおまつりでしたね。何よりこんなに暑いのに、全員元気でできたまつり。最高です。



今年もたくさんの笑顔をありがとう!!

閉会の挨拶は、実行副委員長の瀬崎さんにしていただきました。今年もたくさんの笑顔に会えました。総勢6000人の参加者全員がこの夏のひとときを思い存分楽しむことができたでしょうか。

暑さから逃げるばかりが熱中症対策じゃない。暑いからこそ、涼を求めて祭りにやって来る。祭りに来たらついつい買って食べて踊って、熱くなる。いろんな人から笑顔のパワーをもらって元気になる。そして帰ったらしっかり眠ることです。

ところで、皆さん、タコ飯は食べられましたか。あのタコ飯は地元の古宮漁協で作っていただいた干しダコから作られています。今年は本当にたこが捕れず、まつりのために漁協の方が優先的に準備してくださりました。またあんなに暑いのに焼きそばやフランクフルト、唐揚げなど輪をかけて熱いテントの中で作られている姿を見ると頭が下がる思いでした。

今年の『のぞえ夏まつり』はいかがでしたか。夏まつりが成功できたのは、準備から後片付けに至るまで関わってくださった全てのスタッフの皆様のおかげです。いろいろな団体の皆様、主催者側の意をくみ取って協力してくださりありがとうございました。

